

1年保健体育 (MYP2 Physical & health education) 【保健体育：3単位】

教科のねらい

MYPの「保健体育」のねらいは、生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・ 探究的手法を使って、保健体育の概念について探究すること
- ・ 様々な状況に効果的に参加すること
- ・ 身体活動（運動）の価値を理解すること
- ・ 健康的なライフスタイル（生活）を実現し、維持すること
- ・ 効果的に他者と協働し、コミュニケーションを図ること
- ・ 他者と建設的・肯定的な人間関係を構築し、社会的責任を行動で示すこと
- ・ 自身の学習経験を振り返ること

目標と評価基準

評価基準	目 標
A：知識と理解	・ 「保健体育」に関する、事実に、手続き的、概念的知識を詳しく述べること
	・ なじみのある、あるいはなじみのない状況における問題について説明し、解決するために、「保健体育」に関する知識を応用すること
	・ 理解を伝えるために、「保健体育」の専門用語を効果的に応用すること
B：パフォーマンスの計画	・ パフォーマンスの改善に向けた目標を簡単に述べること
	・ 身体能力と健康を改善するための計画を設計し、説明すること
C：応用と実践	・ 幅広いスキルや技術を示し、応用すること
	・ 幅広い戦略や動きの概念を示し、応用すること
	・ 効果的なパフォーマンスに必要な情報を簡単に述べ、応用すること
D：パフォーマンスや競技の振り返りと改善	・ 対人スキルを強化するための方法を詳しく述べ、示すこと
	・ 計画の有効性を、その成果に基づき説明すること
	・ パフォーマンスについて説明し、評価すること

※「ねらい」・「目標」はIBO「Physical and health education guide」より。「目標と評価基準」はMYP保健体育3を使用。

関連概念（保健体育の学習を通して、生徒は以下の概念について考えます）

適応	バランス	選択	エネルギー
環境	機能	相互作用	動作
ものの見方	改良	空間	システム

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題の MYP 評価基準（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月)	1	1. Development(発展) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関係性) 3. コミュニケーションスキル、批判的思考スキル、振り返りスキル	A. 体づくりの運動 (ア. 体ほぐしの運動、イ. 体力を高める運動) ラジオ体操ではグループで体操の目的を理解し実践する。新体力テストは方法を理解し計測する。	評価基準 B (個人・グループ) 学習計画を立て、進捗や活動を分析・評価する。評価基準 D (個人) 立てた計画の有効性を成果に基づいて振り返る。 【B】 【D】	1. ② 学びに向かう力-B ③ 思考・判断・表現-D 2. C-15

前期 (5月)	2	1. Change(変化) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. 批判的思考スキル	C. 陸上競技 (ア. 短距離走) ※雨天時リレーバトンパス	評価規準 D(グループ) 記録測定の行い方を知り、実践する。グループでの実践を振り返り、その価値と効果を説明する。 (個人) 学習の成果を自己の走りから分析・評価する。 【D】	1. ③思考・判断・表現-D 2. A-3
前期 後期 (6月～12月) ※各チーム毎にローテーションしながら実施	3	1. Development(発展) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. 協働スキル、リサーチスキル、管理調整スキル	E. 球技 (ア. サッカー) 実施種目: フットサル	評価基準 B(個人) 自己の課題を発見し、改善に向けた練習の計画を立て実践する。 評価規準 C(個人) ボールコントロールを身につけ、それを活かした簡易ゲームを行う。インサイドパス、インステップキックの実技試験を行う。 【B】 【C】	1. ①知識・技能-C ②学びに向かう力-B 2. C-10
	4	1. Relationships(関係) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関わりあい) 3. 協働スキル	E. 球技 (ウ. ソフトボール)	評価規準 B(個人・グループ) チームや個人の課題を発見し、改善に向けた練習計画を立てて実践する。進捗や活動を分析・評価する。 評価規準 D(個人・グループ) 練習計画と互いの活動を分析・評価し、学習を振り返る。 【B】 【D】	1. ②学びに向かう力-B ③思考・判断・表現-D 2. C-11
	5	1. Relationships(関係) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関わり合い) 3. コミュニケーションスキル、協働スキル	F. 武道 (ア. 柔道)	評価規準 A(個人) 礼法や他者へのマナー、受け身、固め技、投げ技の行い方など、身に着けたことを解説書にまとめる。 評価規準 C(個人・2人組み) 自己や相手の身を守る方法を知り、実践する。前回り受け身、けさ固め、膝車の実技試験を行う。 【A】 【C】	1. ①知識・技能-A, C 2. B-7
後期 (12月)	6	1. Development(発展) 2. Personal and culture expression(個人的・文化的表現) 3. コミュニケーションスキル、協働スキル、創造的思考スキル	G. ダンス (ウ. 現代的なリズムのダンス) 実施種目: ヒップホップダンス	評価規準 A(個人) ヒップホップの歴史やステップについて理解したことをまとめる。 【A】	1. ①知識・技能-A 2. B-9
後期 (2月)	Un it 外	1. Change(変化) 2. Orientation in space and time(空間と時間) 3. 振り返りスキル	B. 器械運動 (ア. マット) ※(ウ. 平均台は時数に余裕がある場合のみ行う)		2. B-6
通年	7	1. [保健]Change(変化) [体育理論]Communication(伝達) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. 批判的思考スキル、コミュニケーションスキル	H. 保健・体育理論	評価規準 A(個人) 心身の機能の発達と心の健康を自分と他者のこととしてとらえ、思考し、理解を深める。運動やスポーツの行い方の知識を学び理解する。 【A】	1. ①知識・技能-A 2. B-8